

出産、子育てにおける 意思決定と支援を考える

主催

東京弁護士会 第一東京弁護士会 第二東京弁護士会

共催

日本弁護士連合会

旧優生保護法のもとで強制的になされた不妊手術について、最高裁判決は2024年7月3日に違憲判決を出しました。しかし、今の社会にも、優生思想との関係で考えなければいけない問題がたくさんあります。10月8日(木)に仙台で行う日弁連人権擁護大会では、この問題を扱います。

本プレシンポジウムでは、**出生前検査に関する現状と課題**を整理し、この問題に**社会がどのように向き合うべきか**、また、**障害のある方の出産や子育てについて社会がどのように支援していくか**について、**一緒に考える機会**にしたいと思います。

2026年(令和8年)

日時

8月24日(月)

17:00~20:00

場所

弁護士会館10階
1003号会議室



Zoomによるハイブリッド開催

プログラム

第1部

公益財団法人日本ダウン症協会 代表理事

玉井 浩 氏とジャーナリスト 河合 蘭 氏によるお話と対談

第2部

特定非営利活動法人UCHI 理事長 牧野 賢一 氏と

グループホーム利用者によるお話と対談

¥

参加費無料



要事前申込み
(先着順)

会場100名、オンライン400名



手話通訳・
文字通訳あり

申込み方法

下記URL又は二次元コードから、

8月17日(月)までにお申し込みください。

URL : <https://forms.gle/GyB88ajAiuXpm6rK6>



- 資料やZOOMアクセス先は、ZOOMウェビナー登録時に配信されるメールでご確認ください。
- 頂きました情報は、本企画に関するご連絡、当日の出席確認のみに利用し、それ以外の目的では利用いたしません。
- プレシンポジウムの録音・録画及び配布資料の転載・転用は固くお断りいたします。